

第30回小樽開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

令和3年2月17日に開催された「第30回小樽開発建設部総合評価審査委員会」の審査概要を、別紙のとおりお知らせいたします。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

技術管理課 課長 小尾 稔 (0134-23-8305)

技術管理課 課長補佐 高橋 直行 (0134-23-8305)

(小樽開発建設部ホームページ) <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



第30回 小樽開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日・場所	令和3年2月17日（水） 小樽開発建設部 第1会議室		
委員長	穴沢 眞（小樽商科大学学長）		
委員	高野 伸栄（北海道大学大学院公共政策学連携研究部 教授）		
〃	八木 宏樹（小樽商科大学名誉教授）		
〃	山本 泰司（北海道科学大学工学部 教授）		
議 事	【1 審 議】 工事の審査について ① 一般国道229号 積丹町 野塚法面工事 ② 一般国道5号 小樽市 朝里舗装外一連工事 ③ 小樽港 泊地浚渫工事		

委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意見・質問	説明・回答
【1 審 議】 令和2年7月1日から令和2年12月31日までに契約した工事の中から抽出された3件について工事概要説明及び審議を行った。（以下、入札参加者の提案またはその評価に係わる内容は、提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。）	
○ 一般国道229号 積丹町 野塚法面工事	
・ 入札参加者が1者の場合も技術審査を行うのか。	・ 入札参加資格や施工能力などを確認するため、1者でも審査を行います。
○ 一般国道5号 小樽市 朝里舗装外一連工事	
・ 工区によって、昼間の作業と夜間の作業等、現場条件が異なるが、評価に差が生じることはないか。	・ それぞれ現場条件は異なりますが、工区によって評価の点数に差が生じることはございません。 提案者が選択した工区において、留意事項や対策が適切かどうかを評価します。
○ 小樽港 泊地浚渫工事	
・ 港湾工事は環境対策が重視されると思うが、本工事では環境に関する留意事項を求めているのはなぜか。	・ 現場条件によっては環境対策をテーマにすることもあります。本工事では浚渫作業における環境対策として汚濁防止フェンスの使用を仕様書で設定していることもあり、施工管理及び安全対策の留意事項を求めました。